

会議名	長浜市指定管理者選定委員会第1委員会 (令和3年度第4回会議)
日時	令和3年10月4日(月)
審査対象	木之本スポーツ広場

審査結果概要

- (1) 施設所管課(市民協働部 スポーツ振興課)から募集経過説明
- (2) 申請団体(公益財団法人 長浜文化スポーツ振興事業団)による説明、プレゼンテーション
- (3) 質疑応答【以下質疑応答のとおり】
- (4) 採点、集計
1000点満点中:822点(100点満点中:82.20点)
- (5) 審査【以下審査のとおり】
指定管理者候補として適当と判断する者
所在地 長浜市地福寺町4番36号
名称 公益財団法人 長浜文化スポーツ振興事業団
代表者 理事長 堀川佳孝
選定にあたっての条件 特になし

質疑応答

- (委員) 個人情報保護については研修を実施されているということであるが、様々な方が利用される中、人権に関する研修は実施しているのか。
資料7ページに施設の課題で、施設周辺の人口が少ないことが大きな課題であるとしているが、収支計画で収入増加を一定見込まれている理由は何か。
- (申請者) 人権の研修は、年に1度実施している。外国人の方、しょうがいを持っておられる方や新型コロナウイルスに関連したものなど、外部講師を招いて人権研修に取り組んでいる。
施設の課題について、人口集中地区から外れているものの、木之本インターから近く、交通アクセスもしやすく、駐車場も広く設計されている。様々な利用促進のための取組、サービス向上の取組により、特にみどりの広場の利用者を増やしていきたい。あわせて、長浜伊香ツインアリーナとグラウンドとの一体利用の促進により収入の増加を見込んでいる。
- (委員) 夜間の管理はどうするのか。駐車場全体を閉めるのか。
前日施設に行った際に、トイレで水が漏れていた。水は地下水を利用しているのか。また、施設の巡回など管理はどうしているのか。

人件費が45万円ほど計上されているが、組織図で見ると誰の人件費か。

収入と支出のバランスが自主事業によって賄われているが問題ないか。

(申請者) 夜間の管理について、現在、長浜伊香ツインアリーナの駐車場はいろいろな方向から入れるようになっているが、入口を1か所に絞り、職員が開け閉めを行なっている。スポーツ広場の南や西側に入口ができると聞いている。夜間の防犯について市と協議することになるが、夕方までに入口を1か所に絞り、長浜伊香ツインアリーナの職員が援護する組織体制を想定しており、夜間は2名体制で管理を行う。朝、昼、夕方、夜に施設の巡回を行い安全管理に努めていきたい。

水道の件について、地下水も利用されると聞いている。工事中で立ち入れないため、現状が把握できていなかった。

人件費について、日々の管理は、臨時もしくはパート職員を雇用する。そのほか、長浜伊香ツインアリーナとの兼務、財務総務や事業部門の営繕チームとの連携で取り組んでいく。

収入支出について、指定管理事業のほか自主事業も実施する。スポーツ教室やレンタル事業など自主事業で出た収益で全体を賄うということで提案している。

(委員) パブリックビューイングの実施について、大型スクリーンは既に持っているのか。84ページ以降ヨガなど女性向けの教室が集客できていないように見受けられるが、集客は見込めるのか。

(申請者) 大型のスクリーンは保有していない。必要に応じてレンタルする。ヨガ教室は、当事業団では様々な施設の管理を行っている中で、女性の方を中心に多くの方が受講いただいていることから、屋外でもやっていきたいという提案としている。

(委員) 芝生広場が1番の売りだと思うが、維持管理の内容は詳細に記載いただいている。除草剤と殺虫剤について、薬剤がきつくと裸足で歩けない場合もある。子どもが様々な使い方をするとどうという認識でいるか。

(申請者) 散布する薬剤については内容を吟味し、利用者がいる場合は安全に注意を払い、事前に周知していきたい。基本的には刈込、人力除草を行うが、状況に応じて管理を行っていく。

(委員) 長浜伊香ツインアリーナとの一体利用が望ましく、そのような提案がされていることは好ましい。この一体利用の考え方をお聞きしたい。また、団体との連携を重視されているが、マーチングバンドコンサート実施の提案は非常に面白い。マーチングバンドが困っているのは、一定のスペースが必要であることや音の対策であるが、この施設はそれらを備えている。合宿や継続した練習を行う施設の確保に困っていると思う。コンサートも大事であるが周辺の宿泊施設や関係事業者と連携を図り、持続的、継続的に利用していただけるような活用を検討いただき

たい。

(申請者) 一体利用の考え方について、屋外施設と屋内施設が一緒になったということで、効率的かつ魅力的ある施設づくりが期待されていると認識している。スポーツの拠点だけではなく、地域コミュニティの拠点として、休日に親子が気軽に立ち寄っていただける施設になると思うので、この複合型の施設を活かしていきたい。

団体との連携について、昨年度京都と埼玉の高校生にマーチングバンドの合宿をしていただいた。これまでから大会のみならず近隣の宿泊施設との連携により合宿誘致に取り組んできた。木之本スポーツ広場でもそのノウハウを活かし、スポーツと地域資源をつなげる役割を果たしていきたい。

審査

(委員長) 集計結果を踏まえ、指定管理者候補として公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団が適切かどうか意見をお願いします。また、評価できる点、改善できる点があれば意見をお願いします。

(委員) 芝生の広場が魅力的で、管理のことが詳細に記載されており、適切に管理いただいてたくさんの方が来られることを期待する。

(委員) 提案書はしっかりしていて言うことはない。管理をしっかり行っていただきたい。

(委員) 芝生の管理やグラウンドの管理など小さい子供も利用されると思うので、しっかり配慮していただきたい。

(委員) 毎年新たな視点を持って、新たな事業に取り組んでいただきたい。

(委員長) 長浜伊香ツインアリーナと木之本スポーツ広場は一体利用が前提であるし、それを有効活用することで相乗効果が生まれればいいなと思っていたが、それらを踏まえた提案がされていてよかった。

それでは、公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団を指定管理者候補として決定してよろしいか。

(異議なし)

結論、公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団を指定管理者候補とする。

